



teatr amareya

<同時開催>

Sapporo Dance Collective

「HOME」

2019 ワークインプログレス 1st.

日本・ポーランド外交樹立 100 周年記念事業

ポーランドのアマレヤ劇団とアイヌ女性たちの現代舞踏劇

AMAREYA + AINU WOMEN

100 年前の衝撃が今、よみがえる

—ポーランドと日本の架け橋—

2019.9.28. 13:30~/18:30~ 於：コンカリーニョ

ごあいさつ

この度はアイヌ・アマレヤ公演「100年前の衝撃が今、よみがえるーポーランドと日本の架け橋」にお越しいただき、ありがとうございます。

舞踏 (Butoh) をポーランドのグダンスク大学で理論的に学んでいたカタルジーナ・パスツザックがアレクサンドラ・スリウインスカとグダンスクにアマレヤ劇団を創設して16年。その特徴は女性や、障害者、先住民族などのマイノリティへの共感をテーマの中心に据えていることにあります。

カタルジーナは2年前、ポーランドの民族学者・言語学者プロニスラフ・ピウスツキが19世紀末に政治犯として当時の樺太に流され、アイヌのチュフサンマと出会い、結ばれ、幸せな時間もつかの間、離れ離れになっていく…という激動の人生を送ったことを知り、衝撃を受けました。以来、ポーランド民族とアイヌ民族をつなぐ歴史の糸をたどり、昨年の札幌ピリカコタンでの実験的公演「アイヌモシリ」を経て、今回の公演へとたどり着きました。

ポーランド女性とアイヌ女性がつむぐ公演をお楽しみいただければ幸いです。なお、今回の公演は、ポーランド文化・国家遺産省の後援による多年度プログラム「ポーランド独立回復100周年記念・INDEPENDENT 20172022」において、アダム・ミツケヴィッチ・インスティテュート (Adam Mickiewicz Institute) が実施する「文化の橋助成事業」の一環のアマレヤ劇団のプログラム「国境なき自立者：日本におけるポーランド」の一部として行われるものです。

アイヌ・アマレヤ公演実行委員会

2019年9月28日

出演者紹介 (五十音順)

<アイヌ女性会議>

- 加賀谷京子 札幌市在住、アイヌ文化伝承者
- 斉藤 芳子 札幌市在住、アイヌ文化伝承者、樺太アイヌ協会
- 橋木貴美子 札幌市在住、アイヌ文化伝承者、樺太アイヌ協会
- 松平 亜美 札幌市在住、アイヌ文化伝承者

<アマレヤ劇団>

- Natalia Chylińska (ナタリア チリンスカ)
アマレヤ劇団員、声楽・音担当、グダンスク大学大学院在学中
- Katarzyna Pastuszek (カタジナ パスツジャック)
アマレヤ劇団舞台監督、グダンスク大学講師
- Aleksandra Śliwińska (アレクサンドラ スリウインスカ)
アマレヤ劇団員、劇団運営管理担当、グダンスク大学講師

主催：アイヌ・アマレヤ公演実行委員会

小泉雅弘 斉藤ちず ジェフ・ゲーマン 清水真琴 田中真澄 多原良子

羊屋白玉 丸山博 光野智子 吉村卓也

協力：NPO法人コンカリーニョ

後援：ポーランド文化・歴史遺産省 札幌市